

特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルス松山支部（愛媛県）

日本ガーディアン・エンジェルス松山支部は、愛媛県で活動している団体です。愛媛県の県庁所在地の町の中心部の商店街で、赤い帽子をかぶって防犯パトロールをしています。多くの他の団体さんは、お子さんの見守りというのが中心のように伺いましたが、私どもは繁華街で暴走族であるとか夜遅くまで出歩いている若者を少なくしようという思いで活動をしています。

「Dare To Care」日本語にしますと「あえてお世話をする」「見て見ぬふりをしない」ということをモットーに活動しております。また、3つの柱があります。

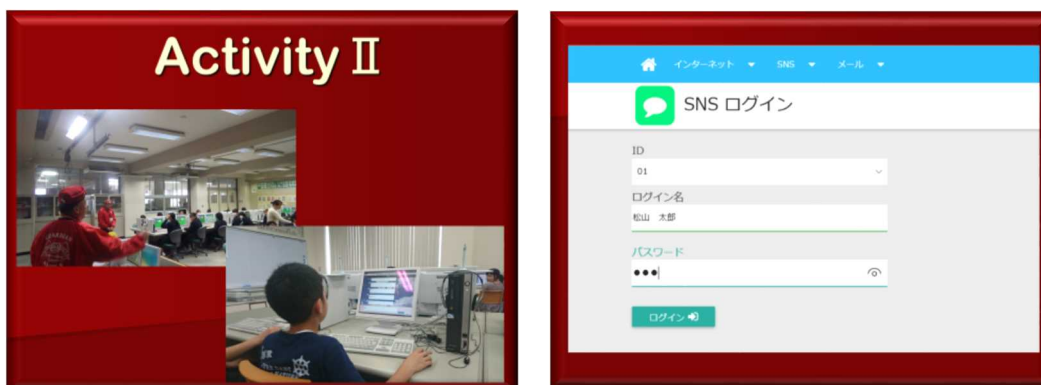
1つ目は、防犯パトロールです。夜間、4人1組で繁華街をパトロールしています。若者、18歳以下の子供がいれば、「早くお帰りよ」と声掛けをし、また、体調を崩された方がいれば救急車を呼んで差し上げるといような活動です。

2つ目は、学校に出向いての防犯教育です。現在、小中学校に出向き、パソコンを使い、インターネットを安全に使うための教室を開催することに1番力を入れています。始めたきっかけは、松山の地域は、以前、暴走族やそれを見に来た若者で溢れかえっていて、商店街の中で物を燃やすなど、かなり非行が問題化していたのですが、ここ数年来、繁華街の中に若者が少なくなってきました。どうも若者の居場所が、インターネット空間に移ってきているように思いました。「町にいてもやることがないので、家に帰ってLINEをする」と言って、今まで夜遅くまでいた若者が家に帰っていく光景に出会うことが多くなったのです。地元の小学校・中学校の先生にお話を伺うと、やはり、インターネットの中でいじめや非行があるという話を伺いまして、インターネット安全教室を開催することにしました。教室では、1人1台のパソコンで、私たちが作った教材を使い、体験をしてもらっています。実際にLINEでコミュニケーションをとって、個人情報漏れる悪い例のブログを子供たちに見せて、どういった危険があるかということを考えて、発表してもらいます。また、LINEの中で起こる様々なトラブルを想定して、あなたなら実際にどうしますかということを考えて、発表してもらいます。小学校と中学校では内容を変えて実施しています。



モットーは
「あえて、お世話をする」

3つ目は、イベントでの活動です。地元の祭礼に出向き、お祭りの中をパトロールしています。



次は、3つの課題とその対策について説明します。

1つ目は、人材不足。2つ目は、メンバーの固定化。3つ目はそういったメンバーを育てていくための方策。

これらを解決するため、日本に24支部あるガーディアン・エンジェルス横の連携を活かして、人材の不足を補おうと考えました。熊本で今年の春に地震があった際、熊本支部と共同で、被災地の防犯パトロールを行って参りました。青パトは地域だけしか走れないのですが、警察庁の協力を得て、愛媛県で許可をもらっている車を熊本県でまた新たに許可を出してもらい活動しました。地形や特性がわかりませんので、地元の消防団の方に案内していただき、夕方16時から朝の5時まで、夜間専門に廻らせていただきました。まず、役場や警察に寄って、その日の情報を収集し、不審車両や他府県ナンバーの車をまずピックアップしました。そして不審車両については、逐次警察に情報を提供しました。我々、松山支部は20人ほどメンバーがいるのですが、各人の車を提供し、今は5台青パトの申請をしております。そのうちの2台を今回の活動にもっていきましたが、この熊本での活動には、延べ人員24名が参加しています。熊本に私どもの仲間がいるというのが、熊本で円滑に活動できたきっかけであります。こういった横のつながりも大事にすることで、メンバーの不足も補っていけるのではないかと考えております。

このように、他の支部・地域の人ばかりを頼っていてもいけません。そこで、松山大学の大学祭に出向き、広報ブースを出させていただきました。メンバーになりませんかと、大学生の方に声を掛けました。また、大学祭の会場内をパトロールして、喫煙マナーを守っていない学生や、アルコールの持ち込みが禁止されているにも関わらず持ちこんで飲んでいる人に声を掛けました。かなりの広報効果があったと思います。また、地元の印刷会社さんには、ポスターを作っていただき繁華街のコンビニに貼っていただきました。電話番号を書いて、興味があったら電話してくださいと、メンバーを募っております。その他、地方銀行の社員食堂のランチタイ

ムに伺ってメンバー募集したり、報道機関に対して、先ほど申し上げましたイベント、インターネット安全教室、講演等をするときに、取材のお願いをしています。現在は、月に1回以上、地方紙であるとかテレビのニュースに取り上げていただいております。「テレビを見たのだけど、新聞を見たのだけど活動をしてみたいです」というような連絡をいただくことが、何件かありました。

次に、メンバーの固定化についてですが、こういったインターネット安全教室は、授業の一環で実施しておりますので、どうしても平日の昼間の開催になってしまいます。仕事等に対応できるメンバーが少ないので、学校には第2希望日まで出していただき、メンバーとはメールで日程調整をして、参加メンバーの固定化を防いでいます。

次に、メンバーの育成についてですが、救急救命法の講習等、研修会を年に何回か開き、技の伝承、技術の向上、メンバーの育成を図っております。

メンバーをどんどん増やしていきたいという思い、メンバーを固定化させてはいけないという思いで、今後とも活動をしていきたいと思っております。



質疑応答

(質問者)

皆さん40代前半の方ということですが、お仕事は何をされているのですか。また、大学生を呼び込んでいるということですが、卒業後のつなぎとめ等はどのようにされていますか。

(特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルス松山支部)

今日来ているメンバーは全員働いておりますので、平日のやりくりがどうしても大変であるというのが正直なところですが、調整して上手くやっています。

大学生のメンバーは卒業したらいなくなるというのはおっしゃるとおりです。できれば後輩を紹介してもらおうというように、なんとか人が減らないように工夫しています。

(質問者)

活動中に犯罪に巻き込まれるというようなことはありましたか。その時の対処法はど

のようになっていますか。

(特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルス松山支部)

犯罪現場に出くわすということは多くはありませんが、年に何回かあります。先般も路上で人が殴られたところに遭遇しまして、殴った人を追いかけたのですが捕まえられなかったとか、風俗店のチラシを違法に貼っている者を警察に引き渡したということがありました。そのような時の対処法は、研修会であるとか、活動に出向く前に一度研修をするようにしています。無理や怪我がないように、あとはコミュニケーションで対応するというを基本に活動をしています。これまで怪我人は1人も出したことはありません。